

第 1 3 4 回香芝市都市計画審議会要約会議録

1 日時 令和 7 年 1 月 3 0 日（木）午前 1 0 時 0 0 分

2 場所 香芝市役所 3 階 第 1 会議室

3 会議の案件

1) 香芝市街路整備プログラムの策定について

第 1 号議案について、次のような質問や意見、回答があった。

質問 道路機能による評価で、緊急輸送道路について、県指定は 1 点、市の位置付けは 0 . 5 点としている理由は何か。

回答 前回プログラムでの評価方法を踏襲している。また市の都市計画マスタープランでの位置付けは、県の緊急輸送道路を補完するようなものとなっているため、役割の重みにより差をつけて評価している。

質問 都市計画道路の整備状況について、概成済みのところで本市と奈良県平均に違いがあるようだが、概成済みとは何か。また、違いがある理由は何か。

回答 概成済みは、改良済み以外の区間で、おおむね計画幅員の 3 分の 2 以上又は 4 車線以上の幅員を有する区間のことである。例えば、いったん整備が終わっている又は整備途中であるという部分については、概成済みの数字に入ってくる。本市では新設の計画がほとんどである一方、既存道路改良の場合や都道府県が管理するような道路の場合は概成済みの延長は大きくなる。

意見 香芝市は今も昔も大和と河内の地域を結ぶ交通の要衝であり、過去の道路の維持管理をどうしていくかということも重要である。事業の際には、例えば、道標、標識のある遺跡物及び常夜灯などについて、残していくことも、関連部署と協議しながら進めてほしい。

回答 歴史資源については、移設、保存、活用等が必要であると考えている。文化財課とも情報共有を図りながら進める。

意見	このプログラムのような取組も大切な一方、散歩できる、ゆったりとした、といった観点での議論もできればと感じた。
回答	歩きやすいような整備の検討や道路のバリアフリー化にも引き続き取り組んでいきたい。
意見	計画地図が小さくて見えにくい。
回答	意見のあった計画地図の用紙サイズを変更したい。
質問	住民の希望と計画の整合はどうか。
回答	今回は客観的評価であり、希望自体を評価に反映しているわけではないが、例えば、穴虫田尻線は署名活動等、地域の希望があることを認識している。
意見	道路機能の評価の点数については、次回以降、とある課題が顕在化した時に、該当する項目の点数に傾斜をつけることもひとつの有り方と考える。
意見	関係各所と連携しながら、景観面など道路整備により生じるマイナス面についても最終的には踏まえて、整備される必要がある。
意見	費用便益については、今回のサンプル的な算定と実際に違ってくる可能性があるので、都度、計算し直すなど柔軟な対応が必要である。